



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2022年12月号ブリテン 第383号

2022-2023年度主題(Theme)

会長 菰 渕 光 彦
副会長 長 津 徹
書記 御園生 好 子
会計 柴 田 弘 子
直前会長 小 山 憲 彦
担当主事 大 津 桃 子

Our Motto 国際標語
国際会長 K. C. サミュエル
アジア太平洋会長 シェン・チ・ミン
東日本区理事 佐 藤 重 良
あずさ部部長 後 藤 明 久
サンライズ会長 菰 渕 光 彦

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」(インド)
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」(台湾)
「未来へ向けて今すぐ行動しよう」(甲府21)
「ワイズへの参加と交流を楽しもう」(富士五湖)
「おしゃべりワイズ～楽しく、明るく、美しく」

12月第一例会のお知らせ

と き 12月3日(土曜日) 17：00～
と ころ 東京YMCA山中湖センター
か い ひ なし
とうばん (参組)御園生、飯野、大谷、菅原、松本

◆プログラム

開会点鐘	菰渕会長
ワイズソング・ワイズの信条	一 同
会長挨拶(サンライズ・富士五湖)	会 長
ゲスト・ビジターの紹介	司会者
報告・連絡事項	会長・各担当
ハッピーバースデー	会 長
にこにこ一分間スピーチ	一 同
閉会点鐘	望月会長
懇親夕食会	一 同

12月以降の予告

12月20日(火) 第二(お散歩)例会・年末納会 12：00～
1月 7日(土) 在京ワイズ合同新年会 12：00～
◇山手教会にて行われる在京ワイズ合同新年会に合流して
開催します。詳細は会長よりLineで案内します。
1月17日(火) 第二(新年)例会 会場未定 17：00～
◇24日(火)の場合も有ります。コロナ次第でZoomの場合も。
2月 9日(木) 第一例会 山手センター 18：00～

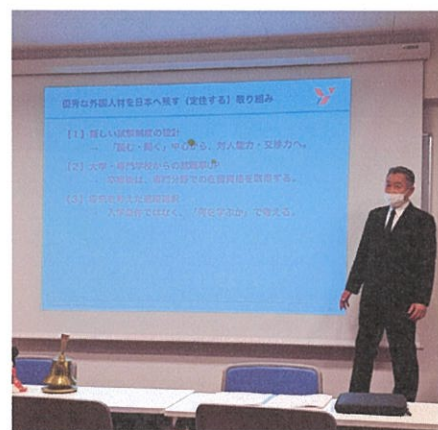
11月第一例会報告

菰渕光彦

11月10日(木)18時～20時 東京YMCA山手センター204教室にて、卓話者にはほんご学院校長望月温さんをお招きして卓話『日本語学校と留学生の基礎知識』のお話しをしていただきました。

当日は17時から準備開始し、今回もiPadとプロジェクター配線でホテル学校熊谷氏のお世話になり機材を準備したが、卓話の望月さんがPPTパワポと資料をUSBで持参されただけでなく、手元での操作にiPadもお持ちいただきました。東京サンライズクラブの第一例会は今期はひと月おきの卓話です。テースティングタイムは残念ながらまだ再開できません。今回ビジターとして東京たんぼぼYサービスクラブの藤江喜美子さんが参加されました。

司会は長津徹さん。会長の開会点鐘後、久しぶりにワイズソングとワイズと信条を声をあげて唱和しちやいました。



卓話は望月さんが「日本語学校と留学生の基礎知識」という題のレジュメを持参されて配布され、はじめに「昼の授業でワイズのメンバーがお見えになって『日本語で【次頁へ続く】

12月のハッピーバースデー

5日 大 津 桃 子 さん
6日 御園生 好 子 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

11月例会出席者

在籍 (内広義会員 2名) 17名
メン (Make up 2名) 10名
メネット・コメント 0名
ゲスト・ビジター 2名
出席率 80%

●11月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg)

●ニコニコ：4,971円(累計：18,227円)

話そう”というテーマを与えられ授業を進めたところ、留学生の皆さんは大勢がたくさん喋りました。授業終了の時間が過ぎて嬉しかったのですね、教室から出ようともせずに『日本語で話したよ』と“大ハシャギ”でした。」と、望月校長は興奮気味に話し始めました。「コロナ禍における留学生の入国状況」を始めとして日本語学校を取り巻く状況、留学ビザの概要、これからの日本語教育の問題点をパワーポイントを操作されながらスクリーン映写してテンポ良くお話になりました。中国からの留学生を始めとして東南アジアの留学生が多い現状の理由をうかがい、出身国の経済事情や母国語の慣習などで日本を留学先と考える留学生たちの留学国選びの変化に伴う厳しい学校経営が予想され、そのような状況のなかで、YMCAならではの日本語教育に対する「寛容性」を重視して留学生入学希望を受け入れる方針をこれからも東京YMCAにほんご学院は続けてゆくという意気込みをお話になりました。

質疑応答のあと連絡報告として、10月におこなわれた第一例会、あずさ部部大会、富士五湖クラブ20周年記念祝会、チャリティーラン、第二例会などの報告がありました。連絡事項としては、11月22日の第二例会予定と、12月17日の第二(お散歩)例会を荻窪の「アニメミュージアム」見学を中心に、その後の納会を近隣でおこなう予定だが、場所は未定で候補出してほしいとのこと。12月3日～4日の山中ワークに関して長津委員長から話がありました。今後山中湖センター中里館長と打ち合わせた内容をまとめて、富士五湖クラブ望月会長への連絡する事を決めました。

ニコニコで参加の方々の近況報告を一巡りした後、普段例会では歌わないYMCAの歌を斉唱して、会長の閉会点鐘で終了。

伊丹亭ののち、飲み足りなかったからか高田馬場駅利用班は美酒蘭へハシゴ酒をしてみました。

出席者：菰渕会長、飯野、江原、小山(憲)、立田、長津、御園生、藤江さん(東京たんぼぼ)、卓話者・望月さん

11月第二例会報告

江原修一

11月22日、山手センターにおいて17時より第二例会を開催致しました。菰渕会長の開会点鐘で定時に始まりました。

会長から11月3日の「やまてのまつり」にはサンライズは出店せず個人参加とした結果、サンライズメンバー3名+ご家族1名が参加し、ラッフル券で全員が賞を頂いた事などの話が有りました。

その後本題に入りました。

・山中ワーク 12月3日(土)～12月4日(日)の件

出席者確認・集合場所・時間、13時からバーベキューを行い、その段取りの件、17時から富士五湖クラブと第一合同例会の件などを確認し、翌12月4日の掃除手伝い作業内容の確認などが話し合われました。

・12月20日(火)の第二例会及び納会の件

お散歩例会は、荻窪駅に12時集合。杉並アニメーションミュージアムで「どらえもん展」を観る事をメインとします。当日夕刻より荻窪付近で2022年度納会を開催する事に成りました。

当日のそば屋及び納会場探しは、ネット検索して会長が下

見して決める。

等の事を話し合い閉会致しました。

・ブリテンの割り振り

第一例会 菰渕会長

第二例会 江原さん

ひよこ 河野さん

山中便り 中里館長

YMCA 大津担当主事

やまてのまつり 御園生さん

出席者 菰渕会長・飯野さん・大谷さん・小山(憲)さん・御園生さん、江原の以上6名でした。

やまてのまつり報告

御園生好子

11月3日 やまてのまつり
(ミニバザー)

3年振りに小規模ですが、[やまてのまつり]としてミニバザーが開催されました。

焼き鳥、白玉、ポップコーン等が出店され、コストコからは衣料品の御寄贈も有りました。

例年出店されているお餅つき、山手学舎のカレー、サンライズの水餃子等が無いのは少し淋しかったけれど、ゲームコーナーは子供達で賑わい、楽しそうな声が溢れていました。来年は盛大に出きる事を願います。



アニー・ベル賞(Ernie Bell Award)授賞

キャビネット

サンライズは昨年(2021-22)度、国際よりアニー・ベル賞を受賞しました。これは使用済み切手の売却金額による献金額の世界上位10クラブにバナーパッチが授与されます。東日本区から7クラブ授賞の内の第10位でした。この受賞はひとえに、飯野さん(元会員)、福島さん(東京目黒)の毎年のご協力の賜物です。我々も見習って切手収集に努めましょう。

山中湖センターだより

山中湖センター所長 中里 敦さん

11月後半となり、センター内の広葉樹は葉っぱが落ち事務所からも湖や富士山が見えるようになってきました。富士山も本格的に冬の装いとなり朝夕は湖畔で写真を撮る人をよく見かけ、ドライブやツーリングを楽しむ観光客も天気の良い日は、平日も訪れています。日中の日差しの暖かさを感じ、変わりゆく景色は東京とは違う時間の流れを感じます。そのような季節に始まるのが大掃除!少ない人数で手を休めることなく続けています。まだまだ序盤戦です。

河野伸子

人々の挨拶に、「コロナ」という言葉が必ずといって良いほど出るようになってから、もう何年でしょうか？ 最初の頃は皆、終結」というのを信じていて、「それまでは・・・」と家に閉じ籠もっていましたよね。

その頃、インターネット講習で、「同じような発現をしたウイルスにエイズがあります。」と聴いて、コロナが無くなる事なんてないんだ。と解りました。

たまたま今も少しだけ行っている薬局がコロナの患者さんに、完璧な位の対応をしているので、少し書いてみます。

あちこちの医療機関からコロナ患者さんの処方箋がFaxで届きます。確認の後で、自宅に帰った患者さんにTelをして病状や併用薬を聞き、処方されたお薬の説明をしてから、自宅に届けます。広範囲なので、車で初めての所が多く、かなり大変です。着いたら、インターホン等で確認後、ドアノブに掛けたり、郵便ポストに入れたりして直接患者さんに接触しないようにして帰ります。

コロナのお薬が出るのは、重症化のリスクがある人です。(例えば、60才以上、肥満、糖尿病、慢性腎臓病、高血圧等の疾患がある人)

処方されるコロナのお薬は今までは2種でした。(国内社のシオノギ製薬のゾコーバも最近承認されました。)

その内の一つ、ラゲブリオのお薬ボトルのフタは、押しながら開けるようになっていました。これは、アメリカでは洗面所の棚にお薬を置く人が多く、子どもの誤飲を防ぐ為の工夫が法律で定められているからなのですが、日本のお年寄りにはハードルが高く、帰り、ホッとした頃「お薬ボトルのフタが開かない」とのTelで説明してもダメで、又フタだけ開けに戻ったこともありました。

もうひとつのパキロビット・パックはコロナウイルスのお薬と、HIV(エイズ)のお薬がセットになって包装されています。エイズのお薬はコロナのお薬の効果を高めるためなのですが、これは一緒に飲んではいけないお薬(禁忌薬)が多く、患者さんに今飲んでお薬をしっかりと聞く必要があります。また、国内シオノギ製薬のゾコーバも緊急の認可のためまだデータも少なく、これから問題点が出て来るかも知れません。

最後に、若い方には症状の対処薬が出るので、いつもの風邪薬と変わらないような内容です。咽の痛みだけなのに、コロナ陽性だった驚く人も多いです。ただ侮れないのは、味覚異常などが残る事もあり、ご本人はとても不安そうです。

先日、ファミリーレストランで、若い人たちがコロナになった時のことを話していました。(5人組で3人が経験) コロナ陽性になるのが嫌で、医院に行く前に鼻穴を洗って行ったのに！と笑ったり、とても辛かったけれど、気が付いたらあれっ？と思うくらいスッキリ治っていて、普通の風邪とやっばり違うよね。などとの話に、経験のない私は、「へー、そうなの？」と聞き耳を立てていました。そう言えば抗原キットも唾液で測るタイプも発売されています。

コロナの人をバイキンマンの様に扱う偏見が無くなり、家でも抗原キットで気軽に測り、プラスでも悪びれずに医者にかかる人が増えると、蔓延も少し歯止めが掛かるのではないのでしょうか？

2022年12月2日発行

東日本区理事 佐藤重良

メンバーの皆さまは、サンライズWebサイトに保存されておりますので、そちらにアクセスしてご覧ください。

【<http://yssunrise.com/wine.html>】

部長通信、ブリテンのバックナンバーもご覧いただけます。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

★11月20日、会員部主催の「ソシアス2022」がオンラインで開催★

会員、職員、学生他51名が参加しました。川平朝清氏(元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授)より「沖縄復帰50年と平和について～ヤングマン&ヤングウーマンに期待すること～」と題して講演をいただき好評でした。講演後は8グループに分かれて、講演の感想や意見を分かち合う時間をもちました。

★11月27日(日)70周年山手リーダー会開催★

リーダーOBOG主催で山手リーダーOBOG会が行われました。現役リーダーを含め、125名の参加がありました。第一部は、全体会として年代を越えてリーダー経験を語り合う場を持ち、第二部では、キャンプソングを歌ったり、焼きビー玉を作ったり、昔話に花を咲かせたりとみなさん楽しそうに過ごされていました。当日は、リーダー養成募金に9万円ほど寄せられました。

★今後の予定★

・12月1日(木)7:00～8:00「早天祈禱会」

会場：山手センター、及びオンライン

奨励：山本俊正氏(日本基督教団ロゴス教会牧師・アジア学院理事長)

・12月11日(日)「東陽町クリスマスオープンハウス」

会場：東陽町センター

・12月14日(水)「ウクライナYMCA支援活動報告会」
オンライン

ウクライナYMCAによる、現地活動報告

参加費無料(日本語通訳あり)

現地とオンラインで繋ぎ、ウクライナYMCAスタッフから活動報告を聞きます。

※どなたでもご参加いただけます。

【お申込】2022年12月7日(水)まで

こちらのフォームよりお申し込みください。

⇒ <https://bit.ly/3Ti4EbY>

12月7日(水)以降、Zoom UIRLをご入力いただいたメールアドレス宛にお送り致します。

soumu@tokyoymca.orgからのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。

・1月28日(土)「第17回子育て講演会」オンライン

講師：大豆生田啓友氏(玉川大学教育学部教授)

テーマ：「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ～」